

令和6（2024）年度 国スポ選手選考基準（体操競技）について

令和6年3月28日

神奈川県体操協会 強化部

1. 令和6年度少年女子国スポ選手選考方法について

少年（中学3年生～高校3年生）個人総合得点については4日の県中学生選手権大会に出場し、国スポ選手を希望する中学3年生の個人総合得点と5日の関東高校大会県予選会兼少年国スポ県予選会の個人総合得点を並べて順位付けを行い、推薦選手を含む上位8名を国スポ候補選手として選考する。

2. 国スポ選手選考基準（少年・成年）について

ア、NHK杯出場者（個人総合上位選手から優先）を第1推薦とする。

イ、全日本個人総合選手権出場者（個人資格取得者）を優先とし、複数の場合は個人総合上位選手から第2推薦とする。

以上のア、イで選出された選手を国スポ正選手とする。但し、最大4名までとする。上記「ア」と「イ」を合わせて5名以上になった場合には5番目以降の選手は国スポ県予選会に出場すること。

上記4名の推薦による決定選手については、神奈川県体操協会から本人へ連絡する。

※全選手ともに国スポ県予選会への参加申込を絶対必要条件とする。

ウ、推薦選手（最大4名）と国スポ県予選会の個人総合上位の合計8名を国スポ候補選手とする。

推薦選手が不在の場合は、国スポ県予選会個人総合上位8名とする。 ※少年女子は上記2. の順位。

エ、候補選手から以下の方法で正選手を決める。

i. 選考基準のア、イを満たす正選手数が4名の場合 国スポ県予選会上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。

ii. 選考基準のア、イを満たす正選手数が3名の場合 国スポ県予選会個人総合上位1名を正選手とする。国スポ県予選会上位1名を除いた上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。

iii. 選考基準のア、イを満たす正選手数が2名の場合 国スポ県予選会個人総合上位2名を正選手とする。国スポ県予選会個人総合上位2名を除いた個人総合上位4名からチーム貢献度が高い選手1名を正選手とする。

オ、チーム貢献度による選考について 上記「エ、iii」までに選出された4選手と組み合わせたチーム得点（5選手のベスト4得点）が最も高くなる選手を選出する。

カ、チーム貢献度選出選手のタイブレークについて

①チーム得点貢献種目の多い選手を上位とする。

②貢献種目が同数の場合には、貢献した種目の得点に対してポイントを与える。

ポイントは 1位：4P、2位：3P、3位：2P、4位：1Pとする。合計ポイントが高い選手を上位とする。

キ、上記でも決められない場合には強化部で検討し、常務理事会にて決定する

（補足）選手選考（補欠含む）について以下とする。

推薦選手および国スポ県予選会の結果から、選手5名（推薦選手含む）と補欠3名（計8名）を決定する。

国スポ県予選会の序列については、個人総合順位とチーム貢献度により以下の選手選考表のとおりとする。

（例：推薦4人例で同一選手が貢献1位で予選1位の場合は選手5となる。）

また同一選手が条件の重複によって上位枠が空いた場合、順次下位選手を繰り上げる。

（例：推薦4人例で補欠1に該当選手不在の場合は、予選2位が繰り上がり、補欠2は貢献2位となる）

以下に記載されていない、これ以降の順位については予選会個人総合上位者から順に繰り上げる。

補欠2までの7名については、メディカルチェックを受診すること。（費用については、県体操協会負担）

選手選考表

	選手1	選手2	選手3	選手4	選手5	補欠1	補欠2	補欠3
推薦4人例	基準アorイ	基準アorイ	基準アorイ	基準アorイ	貢献1位	予選1位	予選2位	貢献2位
推薦3人例	基準アorイ	基準アorイ	基準アorイ	予選1位	貢献1位	予選2位	貢献2位	予選3位
推薦2人例	基準アorイ	基準アorイ	予選1位	予選2位	貢献1位	貢献2位	予選3位	貢献3位
推薦1人例	基準アorイ	予選1位	予選2位	予選3位	貢献1位	貢献2位	貢献3位	予選4位
推薦なし例	予選1位	予選2位	予選3位	予選4位	貢献1位	貢献2位	貢献3位	貢献4位

表記	基準アorイ	②国スポ選手選考基準（少年・成年）についてのア、イ、を参照
	予選	②国スポ選手選考基準（少年・成年）についてのウ、を参照
	貢献	②国スポ選手選考基準（少年・成年）についてのオ、を参照